

## 令和7年度 第3回 花川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月4日（火） 14時00分から15時55分まで
- 2 開催場所 花川小学校 2F 会議室
- 3 出席委員 高倉 学、武田 則治、佐々木 聡、長谷 寿美子、名倉 招司、  
田中 朋子、高倉 毅文、松下 悠里
- 4 欠席委員 牧澤 和美
- 5 オブザーバー 岡埜谷 幸孝（西丘町自治会長）、鈴木 克隆（北部協働センター）
- 6 学 校 池野 由香里（校長）、中村 敦（教頭）、伊代田 和隆（教務）、  
中村 好明（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 中村 好明

### 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、佐々木委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 11 協議事項

- （1）児童や学校の様子について
- （2）学校支援の前期活動報告について
- （3）全国学力・学習状況調査について
- （4）学校評価アンケートの項目の検討について

### 12 会議記録

司会の中村（教頭）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）児童や学校の様子について

議長の指示により、中村（教頭）から、スライド写真に基づき児童や学校の様子について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 学校で行っているアルミ缶の回収も行わないのか。（名倉委員）
- ・ 学校の資源物回収は行わず、近隣の施設を利用していただくことを考えている。（中村（教頭））
- ・ 学校で回収することはないということを理解していただきたい。（高倉委員）
- ・ 資源回収の補助金が出るが、そのお金は学校の助けになるのではないか。（岡埜谷（西丘町自治会長））
- ・ 今の業者が3月には終了したいと言っているので、他の業者に頼むのも大変だと思う。（高

倉委員)

- ・ ペットボトルのキャップの回収は継続していくのか。(佐々木委員)
- ・ ワクチンに使えるので、継続したい。(高倉毅委員)
- ・ スライドの中にあつたリンゴ狩りに孫と一緒にいくことができた。自分も知らなかったの  
で、もう少しボランティアのPRをして欲しい。(高倉毅委員)
- ・ 学校からPTAの皆さんには連絡がいつているが、そこからなかなか情報が広がっていな  
い。(佐々木委員)

## (2) 学校支援の前期活動報告について

議長の指示により、佐々木委員(学校支援コーディネーター)から、別紙資料に基づき学校支援の前期活動報告について説明があり、委員から、以下の発言があつた。

- ・ プール掃除とグラウンド整備、草取りなど、これからも親子で来ていただいて活動して  
いただきたい。みんなに協力してもらっていることを知らせたい。(佐々木委員)
- ・ 花壇の草がたくさん取つてあるのを見てとても驚き、子供たちの力を感じた。ボラン  
ティアは、できることをやるという考え方で参加していただければよいのではないかと思  
う。  
(長谷委員)
- ・ どのぐらいの時間で草取りを行ったのか。(名倉委員)
- ・ 縦割り掃除の時間を使い、2日間に36人ぐらいずつで行つた。子供たちは、良く活動  
していた。(中村(教頭))
- ・ 私は、結果しか見ていないのでびっくりした。(名倉委員)
- ・ 水やりだけでなく、草取りや育てた後の花壇の片づけまでが、植物を育てるということ  
だと学ばせたい。また、ボランティアの方の協力も気づかせ、感謝の気持ちを持たせてい  
きたい。(池野(校長))
- ・ 学習ボランティアは現在増えているが、これがこのままいくとは思わない。また、考  
えていかなければならない。(高倉委員)

## (3) 全国学力・学習状況調査について

議長の指示により、伊代田(教務)から、別紙資料に基づき全国学力調査について説明があり、委員から、以下の発言があつた。

- ・ これは、毎年4月に、全国の小学校6年生に行われる。(中村(教頭))
- ・ 国語、算数と何年かに一回理科がある。他はないのか。(佐々木委員)
- ・ 小学校では理科である。中学校では理科と英語である。(中村(教頭))
- ・ 子供それぞれの目標を持たせて学習に取り組ませている。(池野(校長))
- ・ 特に力を入れるところはどこか。(高倉委員)
- ・ 国語の問題は文章量が多い。文章に対する取り組みが大切である。(伊代田(教務))
- ・ 読書の必要性和関係があると思う。(高倉委員)
- ・ マーキングのテストか。(佐々木委員)
- ・ 基本的には記述式のテストである。(伊代田(教務))
- ・ 新聞を取っている家庭が少なくなった。新聞を読むのは大切なことである。(高倉毅委員)

- ・ タブレットに本を入れれば、もっと読む機会が増えるのではないか。(岡埜谷(西丘町自治会長))
- ・ タブレットの中に「新聞を読もう」というアプリが入っている。(中村(教頭))

#### (4) 学校評価アンケートの項目の検討

議長の指示により、伊代田(教務)から、別紙資料に基づき学校評価アンケートの項目について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 小学校では、いつでも友達の名前は「さん」「くん」をつけるのか。(佐々木委員)
- ・ ていねいにと呼び掛けている。(伊代田(教務))
- ・ 学校教育目標のどこに重点を置いているのか。(高倉委員)
- ・ 今年度は、「やさしさいっぱい」に力を入れている。(伊代田(教務))
- ・ となると「気持ちの良いあいさつ」になるのか。(佐々木委員)
- ・ いつものあいさつはできるので、なにげないあいさつに力を入れていきたい。(伊代田(教務))
- ・ 学習でタブレットを利用することが多くなっているが、本を利用する良さも伝えていきたい。(池野(校長))
- ・ 「ありがとう」「ごめんね」が自然に出てくると良いと思う。(松下委員)
- ・ それがあいさつとを感じる子供もいるし、場に応じた丁寧な言葉とを感じる子供もいるし、温かい気持ちで最後まで聞くことにかかると感じる子供もいると思う。(伊代田(教務))
- ・ 家庭学習は宿題のことなのか、自主勉強も含むのか。(田中委員)
- ・ 家庭学習の手引きがあり、低学年と高学年には違いがある。(伊代田(教務))
- ・ 学習ボランティアのアンケートには、「わからない」の欄が欲しい。(佐々木委員)

#### その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和8年2月17日(火)午後2時00分から2階会議室で開催する旨の報告があった。